

2022年12月8日

報道関係者各位

東急不動産株式会社
SolarDuck B.V.
エバーブルーテクノロジーズ株式会社

東京ベイエリアにおける最先端技術の社会実装を目指す 「東京ベイ e S G プロジェクト 先行プロジェクト」において、 国内初の洋上浮体式太陽光発電、自動航行帆船の技術実証提案が採択 ～最先端テクノロジーの社会実装と環境配慮で、東京ベイエリアでのエネルギー地産地消実現をめざす～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）、SolarDuck B.V.（本社：オランダ、ティール、CEO：Koen Burgers）、エバーブルーテクノロジーズ株式会社（本社：東京都調布市、代表取締役 CEO：野間 恒毅）は、東京都政策企画局が主導する「東京ベイ e S G プロジェクト」の先行プロジェクト（以下「本プロジェクト」）の公募事業において、国内初となる「洋上浮体式太陽光発電」と「自動航行帆船」の技術実証提案（以下「本事業」）が、2022年11月4日付で採択されたことをお知らせいたします。

本プロジェクトは、東京都の50年、100年先を見据えた持続可能な都市づくりを目指す「東京ベイ e S G プロジェクト」において、「最先端再生可能エネルギー」、「次世代モビリティ」、「環境改善・資源循環」の分野における最先端技術の社会実装に向けた取り組みを中央防波堤エリアにて行い、東京ベイエリアから世界最先端を実現することを目指す事業です。本事業は、「最先端再生可能エネルギー」の分野で採択されました。

三社は今後、国内初となる「洋上浮体式太陽光発電」の実用化をめざすとともに、洋上にて生成された再生可能エネルギーを用いて電動船の動力源とするほか、蓄電池の海上輸送実証を行うことで、未来の東京ベイエリアにおけるエネルギーの地産地消の実現をめざします。

※本事業の詳細な実施内容については、東京都との協議により確定となる為、今後変更となる場合があります。

■ 事業概要

1. 事業イメージ

① 生産・製造(発電検証)



洋上浮体式太陽光発電
によるエネルギー創出

②流通(海上輸送検証)



自動航行帆船に蓄電池
を積載し、海上を航行

③消費検証



蓄電池の配布、公共イベントへの
電力供給等による消費

2. 本事業の背景・目的

昨今のエネルギーの需給問題が取り沙汰される中、一大消費地である東京は郊外からの送電に依存しています。ベイエリアでのエネルギー創出・海上輸送が達成されることで、東京ベイエリアならではの都市モデルの実現に寄与します。

3. コンセプト

「未来の東京ベイエリアにおけるエネルギーの地産地消」を実現する。

4. 事業体制

- ・東急不動産株式会社（代表企業）：プロジェクト全体統括
- ・SolarDuck B.V.：洋上浮体式太陽光発電の技術実証 ※連携予定事業者
- ・エバーブルーテクノロジーズ株式会社：自動航行帆船の航行、海上輸送の技術実証 ※連携予定事業者

(1) 東急不動産株式会社



東急不動産は、東急不動産ホールディングスの中核企業として、都市事業、住宅事業、ウェルネス事業、海外事業などを展開する総合不動産企業です。東京ベイエリアにおけるまちづくりの実績も多数ある中で、2020年に開業した東京ポートシティ竹芝は、竹芝エリアの新たなランドマークとして、地域の特性とテクノロジーを活かした「デジタル×コンテンツ」のまちづくり、スマートシティを目指し様々な取り組みを行っています。

本事業を通じて、東急不動産ホールディングスが策定した「中期経営計画 2025」、および「GROUP VISION 2030」において掲げている環境経営、DXを推し進めるとともに、SolarDuck B.V.、エバーブルーテクノロジーズ株式会社をはじめとする連携予定企業とのパートナー共創による事業価値の最大化を目指します。



(2) SolarDuck B.V.

SolarDuck B.V.は、オランダとノルウェーにまたがる、海運業に根ざした洋上浮体式太陽光発電の企業です。オランダ最大の造船所である Damen Shipyards から分離独立して設立され、それ以来「洋上浮体式太陽光発電で世界を電化する」というビジョンに向け、たゆまぬ努力を続けており、独自の最先端技術を駆使して洋上太陽光発電を地域の要件に合わせて行っています。

SolarDuck B.V.は、世界のエネルギー需要の増加に対応するための持続可能なソリューションを提供しており、特に脱炭素化の必要性和限られた土地面積のために、海洋空間でのソリューションが必要とされています。ソーラーダックの技術は、サンベルト地帯の島々からオランダを含む北海のハイブリッドオフショアパークに至るまで、幅広いユーザーケースにおいて魅力的な価値を提案します。



(3) エバーブルーテクノロジーズ株式会社

エバーブルーテクノロジーズは、再生可能エネルギーを使った自動操船ヨットの実現により、地球温暖化の原因となる排出ガスを抑制することで、自然と共に歩む豊かな未来に繋げることをミッションとしています。

風力をダイレクトに推進力として利用した帆船の自動化技術を中心に、水上ドローンモビリティの技術開発で様々な社会課題を解決し持続可能な社会の実現に貢献します。

この度のプロジェクト参画においては、洋上で作られたクリーンエネルギーを、無人かつカーボンニュートラルな動力を使った水上ドローンで運搬する弊社のコンセプト「HYDROLOOP」のスケールダウン版と

位置づけ、スモールスタートでコンセプトを東京ベイエリアで実証することができる格好の舞台です。東京ひいては日本、世界へ羽ばたく持続可能なソリューションの後押しができればと考えています。

■ Plug and Play Japan 株式会社との連携を通じた海外スタートアップとの事業連携が実現

東急不動産は、米国シリコンバレーを拠点とするアクセラレーター/ベンチャーキャピタルである Plug and Play Japan 株式会社（以下「Plug and Play Japan」）が、初の日本進出拠点として渋谷に事業所を開設した 2017 年より、連携を継続しています。これまでに多くの国内外スタートアップと実証実験等を行ってまいりました。

本事業連携予定の SolarDuck B.V.社は、Plug and Play Japan のアクセラレーションプログラムで採択されたオランダの スタートアップです。東急不動産が、Plug and Play Japan を通じ海外スタートアップとの具体的なプロジェクトで事業連携するのは、初となります。